

# 神奈川県議会 陳情事項

1. 児童生徒数の地域的な増加傾向により、過密化している特別支援学校について、新型コロナウイルス感染予防の観点からも、適切な学習空間を確保することを前提とした、適正な在籍数となるよう、特別支援学校の整備・新設をしてください。
2. 県立高校内特別支援学校分教室(20分教室)、県立秦野 養護学校末広校舎、県立小田原養護学校湯河原・真鶴方面分教室について、本校と同水準の教育が保障されるよう、施設・設備や教職員体制を確保してください。
3. すべての校種において、医療的ケアを必要とする児童・生徒が、安心安全に学校生活を送り、学習できる教育環境を保障するため、施設を整備し、医療専門職の配置を充実させてください。
4. 学校休校が続いた中、子どもたちの学校生活に代わる地域生活を支えてきた放課後等デイサービスや、障害者支援施設、日中活動系障害福祉サービス事業所、福祉ホーム・グループホーム等に対して、安定した経営が行えるよう、財政的な支援を充実させてください。

※ペンでお書きください。※名前(姓)や住所を「 〃 」「同上」のように省略せずに記入してください。

氏名(フルネーム)	住 所 (番地までお書きください)
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

\* 11月末までにご返送ください。

# 衆議院・参議院 請願項目

1. 新型コロナウイルス感染から子どもたちのいのちと健康を守るとともに、学ぶ権利を保障するため、教育条件整備に全力をあげてください。
2. 教育予算を OECD 諸国並みに計画的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
3. 国の責任で小・中学校、高等学校の 35 人以下学級を一刻も早く実現し、「20 人以下学級」を展望した少人数学級をすすめてください。また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
4. 義務・高校標準法を改正し抜本的な教職員定数改善をすすめてください。
5. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
  - (1) 高校・大学等の学費無償化と高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
  - (2) 私学助成国庫補助の増額と就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
6. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
  - (1) 特別支援学校にだけない「設置基準」を策定し、学校の新設・増設をすすめてください。
  - (2) 学校の耐震化をすすめるとともに、洋式トイレや教室のエアコンの普及をすすめてください。
7. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

※ペンでお書きください。※名前(姓)や住所を「 〃 」「同上」のように省略せずに記入してください。

氏名(フルネームで)	住 所 (番地までお書きください)
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

左右両方に記入ください